の各地から東チベ

"

1

四

きました

うな心境でしたが、

だいぶ慣れて

居」、初めは一人敵地に乗り込むよ

回で4回目です。

外国での

「紙芝

たいへん好評でした。

海外でのト

クはアメリカ、

インドに続き今

ン・クラブで行った講演

ヒマラ

ーチベット

のアル

プス」は、

10

H

ロンドンの

アル

18

1

集まってくれました。 家たち(ミッ 雲南に興 級 0 Ш 岳ジャ ク・ 、味を持つ著名な登山 ファ スイスの ウラー ナリスト

家です。文章家としての評判も高

(国アルパイン・クラブでの講演

中村 保

れました。 ス氏が親切に司会進行を務めてく ブの新会長、 ーリッヒからも気鋭のクライマ がきました。アルパイン・クラ ステフン・ベナブル

中では最も質問が多く、英国人の を代表するオールラウンドな登山 アルパイン・スタイル』(山と溪谷 でも翻訳されている『ヒマラヤ・ 識しました。ベナブルス氏は日本 未知の領域への関心の深さを再認 過去4回の私の海外での講演 ダグ・スコットと並んで英国 の著者で、クリス・ボニント

く 山家です。 継承する新会長に最も相応 ア ルパ イン・クラブの L 伝統 11

よう。 とでした。 募登山が主流になっているとのこ むカナダ) ニュージーランドとアメリカ 統が生きているのは今やイギリス、 によると " Mountaineering " イツ・スイスはカタログ登山・ ヤー 国 ンと親しく話をしまし ナリストのリンゼイ・ (たぶん世界一) だけで、 日本もまさにそうでし フランス・ た。 0 0 グ Ш 公 F 伝 彼 1) 岳

それでも30歳前後の気鋭のクライ 進んでおり対応に腐心しています。 (会員は1300人) も老齢化が とは言え、 1 15人ぐらいは毎年入会す アルパイン・クラブ

ています。

すでに約40名はリタイ

です。

現在、

アル

クラブの は約 が名を連

A C G

0 メン 18 イン・

1

10

線のクライ

マー

いは頼まれて入れた?)とのこと

登 を るようです。

ブで、 することができず、 創設したのはジョー・ブラウン、 ライマー Climbing Group (ACG) O クラブの中に取り込まれた(ある イアン・ナハト・デービス等です。 1950年代の半ばに先鋭的なク についても聞いてきました。 なことがわかりました。 ACGは アルパイン・クラブのAlpine ところが組織としては運営 RCC■のような集団でし ACとは別の存在でした。 の集団としてできたクラ アルパイン・ 意外 実態



2005年(平成17年) 7月号(No. 722) 日本山岳会 The Japanese Alpine Club 定価1部 150円 URL http://www.jac.or.jp e-mail@jac-room@jac.or.jp

目 次

英国アルパイン・クラブでの
講演 1
マナスル2005 事業委員会
登山隊顛末記3
第4次カンリガルポ山群調査…5
100周年ニュース・・・・・・ 6
100周年記念事業 会員募金
並びに有志募金の御礼(3)… 7
中央分水嶺踏査 · · · · · · 12
アルパインスケッチ/アルパイン
スキー/00会/01会
連続講演会 村山雅美氏
「穂高からマナスルへ、そして
南極へ」・・・・・・14
報告15
丹水会·第48回丹水会集会
ルーム日誌 15
支部だより 16
福島/石川/熊本/宮崎/宮城
東西南北 · · · · · · 18
76歳 富士山頂からスキーで滑る
新入会員·会員異動·····19
Climbing & Medicine · 46 · · · · 20
図書受入報告 · · · · · · 20
会務報告 · · · · · · 21
INFORMATION · · · · · · · · 22
▶日本山岳会事務(含図書室)取扱時間

月・火・木 ……… 10~20時 · · · · · · · · · · 13~20時

第1、第3、第5土曜日 · · · 10~18時 ルーム夏期休室日 · · · · 8月13~21日

第2、第4土曜日 ······



発に登山をしています。 でしています。ミック・ファウラー(もちろん彼もACGメンバー) に聞いたところ、ACGがグルー に聞いたところ、ACGがグルー に聞いたところ、ACGがグルー に聞いたところ、ACGがグルー

統を感じます。

実に行動的ですね。英国の伝

> 原の未踏の6000㍍峰に挑みま ました。今年の秋はチャンタン高 Sによる測量)の初登頂に成功し ヤガン・カンリ6731分 破しました。 ビアから最南端のフェゴ島まで走 登っています。今年は南米のボリ ーで世界を駆け巡り、途中で山に かけており、今はランド・ローバ 名峰・海子山 5820景に挑み に初登頂、 チベットのBeu-Tse 6270以 に没頭しています。一昨年は中央 (不成功)、秋には西チベットのナ マーチンさんはチベットと四川 昨年春は四川の 未踏の G P

報を提供してきました。イングラや山東部のカジャチョについて情した。彼には四姑娘山や念青唐古った。彼には四姑娘山や念青唐古アルパイン・スタイルの旗手のミアルパイン・ファウラーの印象についても書いておきましょう。英国

け離れたものでした。 け離れたものでした。 け離れたものでした。 け離れたものでした。 け離れたものでした。 け離れたものでした。 け離れたものでした。

ると国の税金を使って)15回も出ラヤ登山隊に(マーチンさんによ

はまだ現役です。

ヘンリーさんは英国陸軍のヒマ

人とも63歳、

登山や冒

険に

関して

ンド北部からロンドンに出てきて

同感です いと言っている」ようです。 い登攀の実践者だとは想像できな 的な印象からは、 ンスの登山家たちはミックの外面 りも家族を大切にしている。 持たれる人物である。そして何よ 思いやりがあり、 物静かな紳士で、 " ク・ファウラーは律儀で親切、 マーチンさんに言わせると「ミ あれほどの厳し 誰からも好感を 他人にたいへん 私も フラ

ました。今秋は「チベットのマッリンゼイ・グリフィンも交えてスリンゼイ・グリフィンも交えてスコッチを飲みながら山の話をしまった。翌朝、ミックは出勤の時間に間に合わせるために、皆が寝てに間に合わせるために、皆が寝てに間に合わせるために、皆が寝でいるうちに起きて一番列車で帰りました。今秋は「チベットのご辞」が終わってマーチンさんの

に挑みます。

を企画したいと考えもしましたが、 News"にたいへん興味を示してく 出かけます。 学生だけでモンゴルのアルタイに 30名いるとのことでした。今年は ど、アクティブなメンバーは25~ んが)の部員は、全体で80名てい くれました。 演を聴きにロンドンまで出てきて れました。日本の学生と合同遠征 も日本とは違う形態かもしれませ ました。現役の山岳部(といって ティーは楽しく意義深いもので、 強になりました。ケンブリッジで 英国の登山界の動向を知る上で勉 生2名がケンブリッジから私の講 意欲とレベルは相当違います。学 ンブリッジ大学山岳会との交流は、 岳部現役の皆さんの熱意に触れ 岳部現役とのバーベキューパ 創立100周年を迎えるケ "Japanese Alpine

きたインド測量局の記録(193も手に入らないと言って依頼してました。金子民雄さんがどうしてました。金子民雄さんがどうしてました。金子民雄さんがどうしていい。

0年) らえました。 のコピーをいとも簡単にも

News"がちゃんと保管されていま た。嬉しいことに"Japanese Alpine 報拠点であったことを実感しまし 制覇した大英国の植民地支配の情 る支援体制は、まさに7つの り、エクスペディションにたいす 会の威容とアーカイブスの それはさておき、 王立 地 充実ぶ 理学協

半島のアドベンチャーと登山につ り多い英国訪問だったと言えるで 部と親交を深めることができ、 ころで、これも大いに話題となり 最新号 vol.6 が届いたばかりのと 折りよく"Japanese Alpine News" ガム近郊)に泊めてもらいました ジ、イングランド南部、 家4箇所 クラブの幹部の家と南極専門家の いても専門家と親しく話し合いま る南極圏の南ジョージア島や南極 た。滞在中は3人のアルパイン・ の付き合いで疲れましたが、 英国滞在中に、 アルパイン・クラブの幹 (ロンドン、ケンブリッ 私の別の夢であ バーミン

> 界から孤立している感は否めませ の講演者と何らかの関わりがあり はたいして広くなく、 んでした。 ていたように、 ン・ジャーナル』の編集長が言 招聘した『アメリカン・アルパイ ます。しかし、5年前にJACが ます。ミック・ファウラーも話し スピーカーとして総括的な話をし が講演をしますが、小生がメイン・ テーマは「ヒマラヤの東」 クラブの2005年シンポジウム (湖水地方で開催) 欧米登山界のネットワーク 日本は欧米の登山 に出かけます。 私自身は他 で5人



ケンブリッジ大学山岳部現役との語らい

次回は12月3日にアルパイン・

活動は30日間となった。 0以にBCを設営。 スル氷河の左岸モレーン上490 雇い、約4~の荷上げをし、 1サーダー、 往復で装備・食料約4~と5隊員 3550** マ・ガオンに下山するまでの登山 23 日、 19日早朝にサマ・ガオン 1キッチン要員が移動した。 現地ポーターを128人 6シェルパ、2コッ ヘリコプター2 5月22日にサ (標高 マナ

が済み、 BCに入ってから連日午後は雪 25日にやっと通信関連の整備 メールや電話使用が可能

20 0 5

GPSのデータ通信など

ヒマラヤを楽しんできた。 年齢64歳という登山隊が組まれ、 れた。朴元鍾徳総隊長以下、 ら隊員を募集する登山隊が提案さ なと、事業委員会の主催で会員か 会の創立100周年という記念す 登頂から50周年を迎える。 4月15日から6月2日まで49 いた金字塔を気楽に登れたらいい べき年なので、諸先輩方が切り拓 マナスルは来年の5月9日に初 また本 平均 百間

ユー 支部の竹中吾郎会員を介して、 員のお世話で、 をC1にした。 27日にはC2用の装備の荷上げ ヨークから直接送ってもらう また、松田雄一会 気象データを東海

となり、 のため、先行する他の登山隊とフ ることに努めた。 なくし、モチベーションを維持す の戦略を決めておいた。 ルギーとして、毎分1号使用など をスピーディに抜けるためのエネ 箇所 (雪崩多発地帯やクレバス帯) 素使用は高度とは関係なく危険な は体調維持と高所順化に努め、 荷上げとルート整備を任せ、 応を実践した。作戦は隊員が高齢 6回、ナイケ・コル周辺で高所順 野長隊員は8回、三原洋子隊員は 食中心の食事にして、ストレスを ストランは普段と変わらない日本 ィックス等を共用し、シェルパに 17日までに南井英弘、 いろいろ試す事が楽しみになった。 快調でアタック体制に入る。 小川武、 B C の 隊員

ことができ、 スと雪崩だ。 が難しくなっていること、 7 5月7日、 日中晴 は降雪によりル n 風向きが変わ 大変助 が期待され か 1 0 た の判 ク た。 n 剜 心 初

もらい大変助かる。 ヘリで無事カトマンズの病院に搬 山させた。 でカトマンズに送る算段をつけ下 くものだと思った。 2種類のタブレット 痛み止め等の注射を2本打って 骨がずれて損傷もあるとのこと。 力 肩を強打。スペイン隊のドクター でぶら下がり事なきを得たが、 ルロスに診てもらったら、 5 日 たくの雪原でヒドンク 30分頃、 落ちた。 C 2 シェ 負傷したシェルパ 運良くピッ の荷上げ ル 18 仲良くしてお ヘリコプター 薬を処方して 0 ツゥ ケ V 0 バ ル 1本 は スに が 後 ま

たが、 C1では積雪が1kkほどあり、 てしまう。 復し 3日ほど行動が滞ったが、 の荷上げから再開。 C3まで延ばしたのに残念。 元の つつあると予報デー あと4日で退却すると聞 木阿弥でまた雪に ドイツ隊は残り ・タも出 天候も Ó H 9 数 Ĕ わ



C 1 よりマナスルを望む

退却させる。 れわれのシェ ルパも、 全員BCに

ッ

に移動 状況は厳しいが我々としては希望 問題は積雪、 が確保できないとアタックの予定 ンスが巡るのを待つ。 を失うことなく、 は組めない。隊員の調子は良い。 て動けず。 C2へ荷物が上がって、 17日以降にチャンスがありそ 日は一日中晴天。 したシェルパは雪が深すぎ 気象データを分析する 雪崩とクレバスだ。 度だけの しかして1 のチャ C 3

する。 20 日 日に行い、 天気を考察して、C2の設営を Ċ 3, 帰 n アタッ 0 18日 C 1、 ij コプターを29日 クを21日と決定 19 日 C 2、

工

ぜひもう一 感謝いたします。

度行きたいと思う。

機会があれば、

に幸せで、

応援いただい

た皆様に

めず、

登山できたことは本当

隊員の体力と気力なら十分です C4は作りません。 してC1あるいはBCまで下 登頂後C3泊。 日目全員でC3に向かいC3を設 朝に予約する。 のシェルパとともにC2へ、 18日にBCを出ます。 2日目 C2から下りてきた2 4日目夜半アタッ 5日目C3を撤 作らなくとも クに出発。 1 H 目 3 C

険増大で、 絡があっ 強風と雪崩により紛失したとの連 番必要なフィックス・ロープが 地に荷上げされた装備のうち、 偵察にでたシェルパからC3デポ 続けたが、 を終了せざるを得ない事態が起こ たことになる。 我々の隊だけが最後までアタ 機会を求め、 残念ながらマナスル登山 た。 頂上への道を閉ざされ 19日 C 3への ロープがなければ危 意欲を燃や ル ートを

況は壊滅的。

スペ

イン隊等も

テ

他多くを失い、

退却の要因にな

我々の隊だけが奇跡的に残

ったが、 った。

C2への登路に悪天は大

きく影響、

ラッ

セ

ルと雪崩、

バスのタイト

・なフィ

"

クス、

に必ず起こる雷など問題が山積

す

のに時間

は

か

厳しい。 調不良。 を負う。 探しあぐね、 C2の位置が発見できず5時間も に襲われた我々のシェルパ3名は ルパは2名だけとなり、 18日C2に戻る行動中、 昨夜、 天候悪化でC2周辺 コンディ 2人が手の ビバー シ 3 > ク状態で体 の良いシ 指に凍傷 猛吹雪 状況は の状

> らなかった。 退却の判断を下

今春のシー

ズンは我

々が

0

隊で全隊が退却となった。

最後ま 最後

E

個人手配旅行から人気のトレックツアーや エクスペディションのアレンジまで。充実 度が違う「旅」のプランニングをこころがけ ています。山旅などあらゆるジャンルを取 り扱っています。お気軽にご連絡ください。

アトラストレック

東京/〒160-0008 東京都新宿区三栄町25 三栄ハウス202 TEL 03-3341-0030 /〒540-0012 大阪市中央区谷町3-4-5 中央谷町ビル501号 TEL 06-6946-9111 /〒464-0807 名古屋区千穂区東山通り5-113 オークラビル6F TEL 052-788-2422

第4次カンリガルポ 2 0 0 4 | 群調査

福岡支部 渡部秀樹

降雪があり、 ガル湾からの湿った空気がミシミ 相当な数に及ぶと思われる。 近くあり、 丘陵を越えて流れ込むため大量の る全長約280世の山脈である。 さらに東から、南東に向けて延び ヤ東端とされるナムチャバルワの ルウィン川の間に位置し、 未踏の6千坪以上のピークが30座 カンリガルポ山群は東南チベッ ヤルンツァンポ大屈曲部とサ 5千坪以上のピークは 巨大な氷河と急峻な ヒマラ



カンリガルポ東端の未知の6327m峰の実在を確認

域は、 かけてパンディットA・ 認し写真撮影に初めて成功、 を確認した(渡部、辻)。この山塊 のピークと氷壁を持つ巨大な山塊 ポ東端の63275峰の実在を確 今まで未知であったカンリガル 19世紀末から20世紀前半に K 3 F

約40座、走破した走行距離合計は 約1万+」にも及ぶ 確認と山座同定ができたピークは 今までの4次の調査において山名 解明を柱に、総合的調査を行い、 隊を派遣した。山群全域にわたる 年秋に続き、 でいることが特徴である 山名調査と山座同定などの地理的 山峰群を形成し、大森林帯を育ん 福岡支部は01年春、 04年秋に第4次調査 02年春 03

本博、 ネージャー)渡部秀樹、(隊員)佐々 松本徰夫、(副隊長)中山健、 日~11月15日である 木耕二、辻和毅、 第4次調査隊の概要は、 他13名で期間は04年10月31 渡辺美代子、 (隊長) 7 山

鬼端の63275峰を確認

点については、辻隊員の詳細を極 ミードゥイ谷 (米堆) とトレーシ 可能性は低いことが検証された。 踏路においても、この山塊を見た いて記述、 めた調査により、 が初めて実在を確認したかという 中村保氏らが踏査している。我々 リー・トレーシーらが、近年では R・コールバック、 写真ともに記録がなく、 全ての出典にお ハンベ

ーの勘違い

8 # に位置するハモコンガ峰と混 of Tibet」でカンカール・ラモ峰 岡隊ゆかりの谷となりつつある。 頼関係も益々深まり、 新見知を重ねながら、 同したのではないかと推定した。 峰であることを確認し、同山の東 ぶりにミードゥイ (米堆) を多方面から偵察。また、 として発表した山は、ゲムソング た。トレーシーが「Black River レーシーの探検の間違いも発見し ムソング6450になど) って継続的に調査し、未踏峰 1 ・トレーシーの探検から約70年 02年、外国隊としてはハンベリ この谷は福 村民との信 一今回ト の登路

未知の谷と峠の調査

ミードゥイ (米堆)

谷の西の

した。 巴)におそらく外国隊として初め て入り、 とシュルー・ロンパ ンゴー・ロンパ 谷の奥部の山岳等を確認 雪茹弄

・ベイリー、

キングドン・ウォ

北面へのルートとして利用され いることがわかった。 ロンパ(随弄巴)が現在も夏の間 シュワ・ロンパ (縮瓦弄巴) とスイ・ ンパ(金珠弄巴)、シュワ村からの パ、ダシン村からのジンルー・ロ プー (玉普) 郷からのケパ る峠を確認した。調査の結果ユ 群を北から南へ越えて行き来の また、 現在でもカンリガル ・ロン ポ 1 あ

どこも文革等での破壊は無残であ は、当時となんら変わらないと思 はカラマツの黄葉が混じり、南チ 探検家らの文献に登場するダシン ロルの山村のような牧歌的な風景 るが、草原と岩と雪の峰、 村、シュワ村の現在を調査した。 さらに、前述した20世紀前半の

物調査を行うこととした。 時期と地域が限定されていたため くの貴重な高山植物を観察したが、 05年夏の第5次隊で、 ボ地方の高山植物調査を行い、多 04年夏、 別隊として渡部がコン

100周年ニュース

「創立100周年記念式典開催のお知らせ」

式典委員会

[その1] 記念式典開催について

日本山岳会創立100周年記念式典が、 2005年10月15日(土)に、新高輪プリン スホテル(東京都港区)の「飛天」など において開催されます。

当日は、会員をはじめ、国内外の山岳 関係者を多数お迎えし、厳粛かつ100年の 歴史と伝統にふさわしいセレモニーを執 り行うよう着々と準備を進めています。 同時に、展示会(「写真で見る100年の歴 史」など)や記念講演会、記念祝賀会な どを開催し、式典を盛り上げる予定です。 祝賀会は、年次晩餐会同様、着席スタイ ルで、1000人規模を想定(料理はちょっ と豪華に)。また、レセプションホール 「さくら」(730坪)を一大サロンとして しつらえ、会員の旧交を温め、クラブラ イフを深める機会を用意します。

式典委員会では、式典が、本会の100周 年を祝うと同時に、参加した人々の記憶 に長く留め得るものになるよう、工夫を 凝らした内容を吟味。鋭意、格式・格調 高い企画を準備しています。

なお、今後の予定としては、7月に海 外の関係者にグリーティングカード(通 知状)を発送し、8月には会員や国内外 の招待者に正式案内状を配布します。

会員の参加をお待ちしています。

■毎年12月に行っている年次晩餐会は、 2005年度は行いません。ご了承ください。

【その2】海外山岳関係者への案内状発 送についてのお願い

日本山岳会創立100周年記念式典・祝賀会の開催にあたり、海外から来賓の方々を迎えるべく、現在名簿を作成中です。支部や委員会、同好会あるいは個人的なお知り合いなどで、式典にお招きするのにふさわしい方がおいででしたら、検討の上、式典委員会からその方へ案内状を発送します。下記の要領で、お申し出ください。条件としては、

- (1)本会会員が紹介する登山家および山岳 愛好家であること。
- (2)来日、出席に関する費用は自己負担もしくは紹介者個人の負担とする。
- (3)案内状発送以外の連絡、送迎などの渉 外は紹介者の責任とする。
- (4)海外発送のため、早めにご連絡ください (8月発送)。

[申込み要項]

(用紙が事務局に用意してあります)

- 1. 紹介者 紹介者名、会員番号、連絡先住所、連 絡先電話、FAX、携帯、Eメール
- 案内状発送先
 発送先住所、所属、簡単な登山経歴、
 案内状を送付する理由、紹介者との関係、その他コメント

問合せは、式典委員会の下記担当者まで 染谷美佐子、永田弘太郎

100周年記念事業

会員募金並びに有志募金の御礼(3)

募金委員会

田島汎、廣瀬幸治、

坂本眞生、水沢富一郎、

会員募金について

紙面にお名前を記して感謝の印とさせて がとうございました。厚く御礼申し上げ の方にご協力いただきました。誠にあり お寄せいただきました。全会員の約6割 も含め、約3360名の個人会員、 年6月10日までに3千円、6千円の募金 したところ、趣旨をご理解いただき、本 3年間で計9千円の募金をお願い致しま 会員の皆様から計2550万円の募金を に、会員の皆様に1年について3千円 この度の100周年記念事業推進の為 ただきます。

(会員番号順、敬称略)

19万円以上(2名

津田文夫、 佐久間高男

山浦源太郎、 磯野剛太、 古野淳、 岩井胤

3万円以上(4名

大石惇、 山本良三、 佐藤浩幸、

1万円以上(20名

中村義、

柴田篤志、鈴木耕治、塚本幸子、

藤本三樹雄、 伊藤義雄、

石島襄二、

松方峰雄、

夫

5万円以上(4名)

岡本丈夫、藤井健、 良房、西納久之、中村彰志、松本吉正、 奥村邦夫、手塚宗求、加藤輝一、吉川信 長富修吉、金森繁三郎、澤井貞夫、山本 松葉明、松丸秀夫、関口敏、 浅野清彦、大賀壽二、大橋秀一郎、久我 川崎精雄、本片山数雄、小田眞道、加藤 皆川完一、高室陽二郎、木村桂、三浦欣 村秀雄、大山昭一、渡辺欣次、筑木力、 達男、後藤又兵衛、吉村健児、青山咸恒 大場攝雄、 保坂一、今井喜美子、坂倉登喜子、 田中昭男、 津川昌平、藤井保、 長尾登之助、 望月雅郎、渡辺純一 木村俊博

田文郎、音成彦始郎、

笠原健二郎、谷川菊雄、

野彰一、内海幸男、北野喜行、原口寛、 稔、椎名キクエ、鼎治紀、片岡泰彦、辻 藤大路美興、三渡忠臣、野呂邦彦、中野 前田栄三、小倉雅之 啓三、川俣俊一、中野八千代、村上哲 鴫原一男、室賀輝男、山野井武夫、宮下

9千円(2160名)

村山雅美、秋月良造、小滝清次郎、中條 康裕、的場大祐、馬場勝嘉、百瀬孝、上 近藤等、山田一男、横山雪男、金子泰助 山岳会、渡辺徳逸、平山武志、泉尾忠 成蹊大学、中村テル、竹内佐郎、名古屋

敦彦、市川英脩、米澤清、鈴木羊三、米 荻野昌宏、住吉仙也、野村哲也、田邊卓 鈴木康仁、中島道郎、村上力、斉藤健治 八、寺田鬼久麿、神原達、熊谷とも子、 子、保科文人、久保田宣夫、鈴木正規、 山本佗介、小野一丸、三枝礼子、北島光 山本光二、原満紀、土田幸雄、近藤孝、 司、中野明、山本良子、岡本如矢、土合 酒井敏明、保坂隆司、土屋満、三沢一三 光義朗、吉田英吉、鈴木淳平、本間兌二、 孝、吉野禎造、前田清子、藤野欣也、金 福原健司、中村純二、杉原八百樹、高本 池田昭二、岸本伍郎、中藤剛、佐藤晴夫 三木亮、山口徳明、今成幸夫、蒲生明登 菅隆雄、中島伊平、藤井信、塚本珪一、 橋本祥案、池田経昭、荒木昭、遠山博明 山田一介、熊谷松雄、中村一雄、北島正 戸野昭、金子誠吾、河西彌一、安藤英弥 并雅弘、石田国夫、尾崎徳郎、豊中貞子 高嶺、トヨタ自動車、竹内堯、二階堂匡 一郎、渋谷正己、田村佐喜子、吉武正子 郎、小椋凱夫、仲徳二、長岩嘉悦、 一、岡安正光、星野登、小笠原三郎、 稲垣純男、 内藤修、山本健 山口克、吉宗俊 川喜田一 日高健 勇蔵、高橋正、牧田洋子、竹端節次、荻 男、清水日出勇、 雄、渡辺幸栄、井野進、大貫良夫、桑原 小貫伸一、吉田光吉、山崎幸和、廣瀬自 上野康二、坂本桂、平野明、上尾庄一郎 昌、田村将、沖允人、浅川瑞穂、室次雄 金井健二、川口俊幸、二木節夫、池場孝 孝義、山田義郎、高澤光雄、薬師義美、 啓、近藤暉、平野征人、堀川正路、野村 岡村治信、三上忠人、田辺昭雄、 大口瑛司、安藤治、青島秀夫、熊田宗次 達篤郎、望月計市、小林収、大橋靖子、 真澄、松浦輝夫、式正英、赤井一隆、 司、平林克敏、井口拓夫、鏑木昇、 本田文雄、山村正光、市川次良、植西武 細川沙多子、茨木弘、 大山孝一、麻生国雄、 吉、日本伸、照内豊、 坂井厚、広谷光一郎、油谷次康 鈴木昭、 勝田房治、 羽賀一蔵、

松村濶、円満字正和、後藤圭一、 森山久夫、浅輪幸久、三輪利雄 町田悌 郎、濱野吉生、橋村一豊、大野光彦、尾 箕岡三穂、村井田博、 義人、石橋保、嶋崎兵市、南雲克良、鍬 野恭一、滝口脩、高島法男、松田順次、 小野健、小倉厚、鵜木洋、岩崎忠昭、小 岩間弘雄、松田柳子、石原達夫、宮川初 守篤磨、山本照彦、高木泰夫、國枝武喜 美、廣瀬誠、山田圭一、小林孝次、塚崎 安藤久男、羽田栄治、本間宏之、板井辰 古屋学而、斉藤裕二、高遠宏、田中元、 宮本貞雄、 清水芳美、 安藤文子、 佐々木民秀、伊藤博夫、 添田啓一、本田卯太郎、 前嶋信、菰田快、 小林俊樹、 河村勝、 村田進 野田憲一 市川章弘

崎進、越田和男、広瀬健三、吉田実、山

[寿證、

岩崎三 寛治、甘利敬直、 谷迪夫、戸塚守夫、遠藤京子、嵯峨野宏 中馬一枝、鶴見敏彦、野沢広作、 谷有爾、荒木壮一、貝森健治、 昭、豊島洋一、加藤朝章、伊藤祐道、 中馬董人、伊藤寿男、梅野淑子、 子、赤瀬暁、杉山泰司、菅谷保夫、吉田 長谷川雄助、 男、下山壽、野崎裕美、中野武司、 村井葵、山里寿男、水越武、澤登均、 加藤博二、山崎郁郎、 かんば、 佐藤はまゑ、新本政子、大山幸太郎、 丞二、木村泰助、 石垣政雄、岩崎英宣、高田真哉、齋藤敏 中西豊和、石田稔郎、白籏史朗、中川智 子、本多圀雄、金子泉、岡田光行、 木正樹、久保田全、石川三知子、宮沢章 松野賢珠、尾上昇、糸原学、森勲夫、青 **恵夫、神原忠夫、山田硅二、滝本幸夫** 田中幸男、稲垣信生、小田哲夫、針 一郎、荒井辰弥、吉永定雄、八木実、 小山長孝、八巻和男、小池恭弘、宗 郎 桝田信彌、岸栄、土橋進一、金子 青木伸雄、小材守志、山際新一、 後藤傳、 斉藤晋、 橋本正人、大塩條児、 小田島政行、 成川隆顕、畠中六左衛門、 桜井善志、牧繁録、 川田善朗、 小嶋誠孝、渡辺一、久野英 吉田紘臣、 斉藤哲郎、安田成男、 渡辺誠司、 山中忠紀、湯口康雄 小栗宏、田畑真一、 真家雅彦、 桑原悌治、 鍵和田洋一、 渡辺竜吉、 田中弘士 廣瀬一隆 山田猛 菊池武 近藤育 池

三枝明徳、福嶋泰夫、室光子、小川務、 勇作、 黒沢勝、森沢堅次、太田紘文、石田紀元 沢隆一、大野栄二、黒木邦夫、宮川清彦 藤茂、松本康司、河野吏、村田恭邦、 明、丹治計二、岩垣敏宏、森山重禧 長田正行、清和良晴、太田義一、近藤保 藤郷太郎、八木功、堀田哲男、中村進 篠原千秋、 中川博人、三鍋久雄、久新大四郎、 学山岳会、山田新、大塚八千代、水谷弘 隆章、西郡光昭、五十嵐恵美子、 信、梶田民雄、安井豊、愛知俊之、石上 原隆太郎、金沢康夫、酒井展弘、 常男、小島一喜、原康博、秋元智安、藤 卓、加藤昌晴、千田早苗、 井出秀雄、 石川勝司、 島弘、佐々木孝雄、鈴木茂、柳明雄、 夫、加賀勝、 鉄男、土田公一、梶浦正敕、山川三千雄 藤原義人、種村重明、 鈴木常夫、本田昌司、 人、鹿野勝彦、中島隆、篠繁市、笠原正 重節、大島秀夫、伊藤敏男、加納巌、 秋山宏明、遠藤昭治、 田昌久、浅水信昭、藤井正善、下崎雄二 治、常盤峻士、森信昭二、山田哲郎、 大野義徳、 篠田勝久、金井良碩、浅原健蔵、 吉川暢一、吉永英明、 笠原宏、中原良材、片岡博、 原田洋、加藤康一郎、 宇都木慎一、松田章、 山崎正数、藤岡知昭、 佐藤昭義、 石川雄二、柴崎徹、 恩田善雄、西田哲彌、 知久健四郎、 佐藤静夫、平野彰 岡本明男、若宮昇 一力英夫、遠藤靖 北村猛 遠藤宗男、 、横田明 大和田 上田正 伊藤澄 島汀子、 節田 大日 阿部 阿部 徳 土 野 斎 篠 伊

北沢清行、北林嘉鶴子、小林力、 光明、伊奈宏司、宮崎幸博、神谷哲夫、 藤條好夫、三原洋子、平林芳夫、宮下喜 信一、桐生恒治、北村節子、柴田初子、 鈴木嘉、真仁田美智子、和田民子、中島 子、白石丑太郎、宗像清吉、川瀬幹夫、 瀬川昂生、 吉、小川九三雄、後藤守男、千石信夫、 千代田英次、高橋功、酒井定勝、 東原進、小西利雄、 正雄、加賀谷昭一、佐藤義正、古谷聖司 藤文昭、 三澤日出夫、野沢豊、城島正幸、田口善 綿引安人、子吉格郎、 奥野幸道、 井久光、和田誠一、坂口三郎、真栄隆昭 荒井謙之輔、吉田三智子、西尾俊子、坂 金成忠、堀等、鈴木義男、 代男、川上正義、前田中庸、西尾寿一、 橋本正巳、 敏昭、川井英憲、鈴木勝男、井古田忠男 信、三浦敬志、和田賢次、松井潤次、 原道夫、副島勝人、斎田貴典、 井堅至、伊佐九三四郎、中村小一郎、 夫、吉井洋之、土井高夫、吉田宏、 由紀子、大宮求、岡沢修一、加藤節子、 下沢英二、堀口丈夫、佐藤衛士、 小原和晴、 石井忠雅、 文、望月阿香実、高橋巖、堀尾勝己、 、山口武夫、山寺仁太郎、上條輝夫、 ,山芳一、中村浩一、村田正春、 小野勝昭、斧田一陽、城所邦夫 久保田明宗、内藤順造、上條 山本康文、池田常道、 梅本実、柿原和夫、福士節子 中園喜一郎、井上隆夫、 近藤有慶、柳田凉子、 山本稔、三枝守維 阿部恒夫、加藤明 中西章、 田村均、 高橋通 金子宏 大場貞 松本宏 成田博 木下喜 麻生

中田勇、 二、光安巌、岩坪昤子、奥原廣次、松本 俊彦、小林碧、白壁弘保、渡部温子、菅 高橋文雄、田中節子、降旗厚、 宰、八木原圀明、 島精一、清登緑郎、村松紀夫、里見清子、 夫、首藤宏史、酒井国光、門脇愛子、平 村上慶三、赤津隆昭、中村あや、星子貞 祖父川精治、麥倉啓、 清野務、和田庄司、下田泰義、森本市郎 喜恵子、上中俊治、冨田郁夫、長坂英一、 博、増岡栄一、北村均、小倉敏子、赤石 遠山實、末岡睦、家浩、飯沼和男、西信 莞爾、中村正義、川越はじめ、佐山邦彦 雄、松田孝一、大野秀樹、加藤記代子、 小林啓助、長嶋正浩、小堀一政、宇津力 山崎幸二、名塚達夫、西孝子、 進正和、滝田博之、坂井八郎、平井吉夫 近藤緑、高見澤領、幣内規男、 彦、新井陽一郎、打矢道雄、飯田武夫、 室伏偉男、本間一人、溝部直樹、 都竹祥子、阿部慎二、北野良一、白根一、 栖寿生、牧潤一、松浦祥次郎、川里弘孝、 井後幸太郎、大久保成幸、冨田弘平、三 原修三、上野寿一、内藤俊夫、渡辺立男 彦、三溝関治郎、 佐藤俊、坂西徹朗、 山田智子、横山宏太郎、江本嘉伸、 小松原一郎、上杉雄二、一山了、松岡憲 大木淑子、早川英夫、佐野博、 大越陞助、寺西申生、市野瀬建二、長坂 木皿謙、 小川益男、 加田勝利、七里直、 佐藤泰彦、山本節生、 佐藤知恵子、堀雅裕 杉山イタル、 大里祐一、廣瀬正、 森丘實、菊池更生 杉本宣明 向井成司 遠藤家之 北原秀介 長尾武

川島榮三郎、

野村芳雄、

坂井南雄治、

久米實

高田邦雄、

松本良、小山三雄、

杉本武満、

高

恒美、今野昌雄、 武志、本田政一、松井忠治、高辻謙輔 子、羽田政人、山田透、細井澄子、山本 宮隆史、菊地俊彦、上原泰行、加治川栄 木康之、菊池洋、鈴木壽男、石沢好文、 郎 田中淑子、影山英雄、市川義輝、石澤六 川利雄、内山脩一、中川雅子、 葛西森夫、大友繁、重村清、大島康弘 大島省吾、木村康雄、高野道男、佐藤紀 臼田徳雄、須々田秀美、斉藤直信、宇津 加藤利徳、村上賢二、平松勝司、 小田隆治、森恵子、井上保、熊谷藤子、 **村博行、増山茂、** 松田和弘、木野光一郎、加藤比呂志、松 一、山田昭一、橋本しをり、杉山善三、 藤川三郎、 武内紀子、三浦繁司、石塚彰、佐々 樋口光久、 高橋早苗、 浦一美、 曲田均、 込田伸夫、 柳正博、 足達敏則、 矢作郁子、 飯田肇、松林のり子、 佐藤征郎、 堀江精 垣内雄治、 武井清、 郎 井手隆尚、 小野晃、 中村勉、 加藤盛一、 遠田篤 宮崎

田宗男、 尚 美 雄 和夫、 子、平野武利、中谷寶悦郎、 吉村洋子、堀内拓三、日野正紀、 畑恵宥、小寺佳美、 子、佐々木幸雄、高田知典、 沢庸昭、須藤節子、山崎大造、先水美智 彦、水野美代子、豊田博、 奥野道治、神田典昌、堀秀臣、 美子、山上皓一郎、高橋毅、東北大学山 邦慶、中井俊一、小山年勇、岩佐邦彦、 也 三井嘉雄、 田中清、 入江善一、川善市、 上光恵、湯本一彦、山口悠紀子、高柳清 治、仲俣新一、杉浦敏彦、前原満之、坂 の会、渡部秀樹、鈴木快信、 松澤君子、竹内研一、岡田茂久、田中惠 真理子、井野元繁、 大槻雅弘、小田孝、金藤貞夫、宮野典夫 吉田力、朝倉英子、吉村公一、西山正彦 百合の会、宮本忠直、大谷セツ子、 佐野源一、荒金通子、藤田礼子、 山秀夫、大塚玲子、今福克保、國生勇男 薫、武居台三、大坪重遠、 古屋絃、鈴木要三、岸恒方、村山和 山田信明、宮坂登、木村義照、 関清、藤田靖二、俵山守男、市東 高柳生雄、山口定男、林一夫、後藤 堤信夫、 能田忠明、木村裕一、大場浩正 神長幹雄、影山収、小笠原義 古川沙朶、 岡芳正、 前田司、 豊田順介、 金田貞男、 山本晃、 沼賢亮、田村哲朗 栗村明信、 小池英雄、 篠塚正俊、 伊藤美明 相澤増平、 出正人、 内藤勇 松林公蔵 岡野修、 堀嘉余子、 中川久、 田久保勇 川合愛 堀田昌 岡本 小田 大 西 貫 堀 韮 崎好、 寿一、野田尚志、石光久仁子、 妹尾律子、 樋口公臣、原田敬子、 野清夫、嶋田五郎、高橋脩、 子、 川口直能、 三枝啓子、木之下繁、西畑武、 松本元、矢口勝義、田寺尚和、 大井靖、 八重子、吉武秀夫、 小野里英次郎、 本多加志、安田範明、 林新一郎、 井朝徳、福嶋佑二、駒井治雄、 加藤稜子、平田和男、小田晃士、 高村真司、 倉金藏、 岡市敏治、 夫、名越實、清水巖 渡辺富衛、

郎

鈴木千定、古川良雄、山内真行、古

川和道、矢尾板

一郎、井上和夫、岩田

小田知枝、原田武司、内藤守彦、

中

佐伯節子、横山隆、塩澤厚、

神部一男、奥田晃司、

前田直己、

鈴木尚、

田中義晴、

高田哲男、

根来春樹

山田和男、

清野宏、河野之保、

青木

戸谷翠、 宮崎稔、

田野慎之輔、

中村久

中田豊作、

諏訪武、

浅井計一、平戸孝夫、

井上優、 中島達哉、

久我文子、

中

近

福田巌

雨宮宏光、

牧野宏、斉藤チョ

高田正男、

石塚寿昭、

岡部庸

長島吉治、長谷川昌美

長谷川英夫、

本多矩

戸來彌、岩田惇、鈴木一好、渋谷千秋、 鴨田英一、田川芳子、奥山巌、松村マサ 福田光、阿部一孝、菅原修、伊藤昌彦 北野忠彦、上田景子、矢尾板奈々子、 幸子、大久保勉、金井哲夫、酒井明徳、 代、中山繁、前田隆司、佐藤美男、山内 義、足立孝也、小瀬保郎、松田謙介、 吉、大兼まゆみ、辻章行、山本幸生、 田村充子、宍戸次夫、柳下棟生、 赤羽昭夫、中西健一、阿部和 田中春子、上岡謙一、 **遁所彊二、武田峯** 相宅喜久子、関口 松崎宜晃、田中貢 石井幸一郎 小澤みち子、 高比良昭、 福島勉、 大橋基光、 染谷美佐 茅野享生 妹尾幸雄 後藤三男 中山健 山本忠夫 小林善計 山口峯生 四方宗和 柏倉信 平澤利 神谷平 穂 藤 Ш 矢 市 鷲 原秀郎、蔵富幸夫、 徹司、 三、鈴木裕代、椿居澄子、中村靖弘、岸 二、垣見侑子、関本邦晴、石森長博、 介、岡田米三、牧野昌久、山縣喜美子、 中澤喜久郎、山下静江、中村勝久、安立 岩本澎、中島雄三、 至、 山上郁子、副島敏夫、草木陽一、吉田博 村久一、三堀正純、長岡伸恭、 渡辺恭三、奥山和夫、倉持内武、 勝重、井上泰利、 深沢健三、澤井増夫、吉川隆士、陣内英 田亮二、山崎浩子、中村美津子、榊田検 原カズミ、酒匂輝昌、袴田靖子、佐藤進 子、西本栄一、田邊信行、大内倫文、高 中村泰一、鶴田稔、宮竹重里、 治 子、坂尾藤江、 田洋、飯田勝之、亀井敬、佐藤藤一郎、 轡田隆史、市村幸夫、蜂谷益雄、小松良 山健助、椿居義男、篠崎純一、尾身茂、 清水朝一、西村尚和、守屋龍男、 康弘、柳田勇悦、 、正橋剛二、正美智子、松村守、 長谷川清、薬袋興児、西口正司、 藤塚吉太郎、新井浩、足立みなみ、 臼田毅弘、金豊治郎、原田雅弘、 藤田友生、武藤光明、武内敏男、中 戸屋正俊、 磯部実穂、 白鳥勝治、 榛葉華子、山口善弘、 吉田雅子、 大庭保夫、大津陸郎、 津田清昭、 佐藤誠二、 杉崎満寿雄、 西川信義、 堀川浩、 小野光比古、萩田實 千葉庸治、 海川敏雄、 船田洋子、 百田高子、 川上進、 原利恵子、 奥村一郎、 酒井忠正 伊地知六 武田幸男 中川尚、 石川 川朋子 増田達

宮原岳子、井上勇、

下野武司、高野昭吾、神戸純成、植村澄

服部秀夫、中村圭子、大庭常生、牧野千 谷口元、鬼頭良吉、戸谷全男、 博司、太田正、河野直子、近藤宏、 原館 欣子、山口文嗣、松本治、兼子洋行、 美、ACC紫蘭会、関根和男、 村山裕嗣、 昭次、桑原建児、藤田純江、 高野實之輔、 **貫聚、一谷恭次郎、桑原富彦、** 代、大口善朗、草場九男、堀田明允、綿 宗清司、中部博之、岩崎真知、宮本紀美 保、保坂光廣、松永忠則、黒田守彦、長 藤本眞弓、加藤弘司、高橋俊彦、樽木正 和田博文、西野禎志、仕名野完治、菅勲 千恵子、松尾美貴子、中川寛、丸尾龍一 金子康一、本田榮三郎、山下京子、小島 和波久基、川畑直美、渡邊久、田中義一、 郎、篠田勝行、大島洋子、黒澤満、中祖 池田悟、伴野榮子、遠藤俊一、七澤恭四 向祥剛、粟野修一、吉田修、柳原徳太郎 野敏樹、石川保、岩田安生、 吉田秀樹、水野起己、松本睦男、 庄三、松木宏夫、鈴木裕子、福島郁江、 若林忠男、松沢貞一、浜崎一成、 野本秀旺、菅原達也、木村清、 开美江、哘勝男、渡邉玉枝、田中守之、 久徳秀郎、財団法人植村記念財団、 窪寺健之、渡辺剛、秋山庸一、増田 内海学、佐藤正八、大貫金吾、 志賀勤、赤沼健至、斎藤恭右、 大沼良典、三田村庄一、三角朗、 小宮山稔、室賀實、松下順一 中山博允、 池田勉、 安藤幹、日 高橋てる子 角田元、 藤井哲夫 池田真由 宮澤茂男 浜田好 勝俣秀 、高橋 福

男、平野雅俊、菊地俊朗、喜熨斗政夫、 郎 四子、神戸信和、高野笑美、江上清治 鹿内善二、工藤光隆、久野菊子、野村百 島眞一、加藤功一、松澤保雄、 司、小川子野、田中洋子、鴨下重彦、 小林勝之、松田宏也、 田直子、目崎貞良、 山武、手島一郎、大野力彌、 佐子、中川平八、岩崎元郎、金谷昭、 池永薫爾、大山雄一、立澤延公、奈良千 雄、長岡五百子、小玉則子、阿世知義幸 高橋忠雄、 秀昭、児玉章良、並木佐吉、溝部忠増 子、兼森志郎、田尻一實、鶴田實、岩内 川昌寛、伊藤寛志、松尾憲治、西村智磨 雄、川田邦夫、清水秀紀、清水正己、 長谷部忠夫、大西保、岩舘公子、利部輝 千恵子、荒木浩二、安藤幸明、西川元禧 道、藤内英夫、鈴木聰、兼宗房子、石川 成田敏昭、岩崎充弘、大塚定吉、 太田章雄、 遠藤久美子、北沢昌永、伴實、牧野忠男 部山岳会、大山恭司、佐藤正樹、上野智 木義雄、高橋重之、高橋郁子、永楽倶楽 合子、高田和彦、大船武彦、田辺治、 中村光明、 島田稔、森修作、池本慶一、小林英雄 佐伯尚幸、林田健治、原山恵津子、原徹 三國晋誼、 大城戸昌敏、松上美代子、中村ひろ子、 伊藤寛、 中川幸平、原広美、佐藤博 愛利三、堀井弘、福田泰文 吉永威幸、平田信康、 坊野秀美、鎌田耕治、長岡昭 有吉毅、水畑靖代、山影一司 高橋タイ子、志田郁夫、笠 大悟法雄作、中田 岡田謙吉、 能田成、 嶋岡章 野口健 矢部博 藤 能 柴

井徹、 原紀子、倉岡啓吉、秋野芳子、 齋藤清成、渡邉正子、及川迪靖 起始、田中和雄、杉村勝司、高崎辰箕、 中村哲人、小林成光、小林順子、鈴木勝 正嘉、廣島孝子、遠藤智久、伊豫田滋雄 熊本道夫、和田光弘、上田闊 荒木信夫、大庭貞江、 岩出好晃、平原守、高坂清、多田真弘 **邉浩、高橋富貴夫、住吉実、松原六郎** 三島秀介、富田弘、小田島博、 石原康生、内藤芳夫、富澤克禮、 坂惠子、山本武久、吉江光善、 滋、福光正行、福光直子、吉田和夫、保 基、間瀬泉、今野道子、遠山若枝、 さ、町田山百合の会、竹内康雄、 小山茂男、佐藤映子、寺田和雄、 和田英昭、 倉昭夫、大山彰仁、成瀬ヒサ、井口功、 藤司、大岡省三、柿崎謙介、山本博、 山口剛、山口千惠子、斎藤宣雄、 彦、高野弘子、西田進、武田任夫、柿本 磯田寛、鈴木茂三、遠藤源太、 大井喬、早川菊惠、 百合子、佃直毅、中野慶一、橋本勝、 伊藤義昭、今西芳子、武藤光盛、 一、伊藤宏明、市川克己、青野興喜、 一、天野陽子、石浜良昭、坂本彰子、長 、浜田啓子、塚崎義樹、高橋武夫、権 坂井博一、林正樹、 川越尚子、永田和行、志摩茂、 山岡慶子、石井由紀、竹内倭子、 高橋宏、 宮崎紘、 財津達弥、 藏元重親、山家敏雄 富田令子、 田中康典、 青柳勲、 星一男 坂井篤、 龍久仁人、 一郎、山本 村田茂仁 小山孝治 小泉誠一、 遠藤将 京極絃 若月昇 西あず 高橋正 成瀬昌 勝倉達 下 FF 渡 *

伊達幹、 田和司、 今井幹雄、米替誓志、佐野忠則、 浩一、真田幸俊、石川悦子、海老沼清、 松波幹夫、竹井邦夫、久夛良謙一、品竹 康、中藪淳一、松田昌義、柏木俊二、樋 郎、今峰正利、杉本孝夫、中村庸男、 前垣壽男、谷口義宗、山本栄藏、江田晃、 芝一民、田邉喜久、杉村功、長谷川忠彦 祥介、野間弘、木村知博、 寿、吉田健二、中村直樹、森紀喜、 增江直之、小林正彦、星野修二、大塚栄 高井延幸、末廣坦、松井利夫、清水敏弘 川村英二、田島守、角橋通弘、 崎美子、前川陽、古田英路、鈴木美代子 雄、村上直温、望月恭一、望月公子、山 原田久江、木原玲子、安川俊子、後藤利 野和、鈴木盛彦、百瀬信敬、 英、松本吉春、永山義春、平野幹雄、平 埴崎滋、磯野澄也、成合玲子、 子、神田道雄、小宮山和也、 善登、林順一、日本曹達山岳部、永峯麗 知子、推名高夫、文熙晟、進藤弘、 菅原恒男、松本陽子、森山善弘、福山美 俊逸、加藤実、天竺桂廣義、松尾武夫、 神子安雄、正田範満、正田緑、寺田新一、 美、猪股博良、木村亥三雄、加藤和子、 口悦子、増田千恵子、千葉佳一、金子静 方郁映、大久保セツ子、高櫻英輔、 本茂久、青木周子、青山幸男、 島幹郎、高橋耕、西川潔、 波木正司、加賀谷吉俊、松田政男、齋藤 松田昭郎、八嶋寛、 羽奈傳、 舟橋栄子、 川口士郎、 増山武雄、 和田昇、 紺野昇、 村田逸男、 加賀要子、 岡本博三 柿崎國男 西澤與志 田中 織 豊 高 Ш 野

子、松島宏、 芦澤敏夫、下斗米紘二、倉内初枝、 小森昭、三橋啓克、 紀子、星原信之、松本廣文、青名畑幸彦 林秀介、 貞美、小林貢、多家一彦、大槻利行、 長田綾子、澤口正武、清水和男、八木橋 野良之、治田利治、岩崎守男、伊原哲士 園毅、中島純忠、井汲博、永谷誠一、 石川祐子、河村靖晴、 岡總太郎、上野孝、大森康子、金尾誠一 佐々木和夫、大貫俊彦、五十畑正弘、西 舛田昭夫、杉本寿子、池昇一、笹生博夫 三宅一正、 志、反橋一夫、前田忠昭、金内一夫、中 順子、筧邦男、末永軍朗、谷口菊美、 穴倉祥子、川越典子、金丸静子、漆崎隆 羽邦夫、山中光子、大澤弘明、谷口ウメ 浜田正義、小松崎幸代子、伊藤勇二、荒 籐誠人、村田孝嗣、高木荘輔、宮澤泰 二、小野久光、児玉式雄、植木淑美、 一、前田健進、新井康弘、横田重雄、 [敏子、十川むつ子、原田俊子、三尾敦 郎、 神森登代子、加藤春男、増田信男 中川一江、佐藤允信、菊澤雄吉 園田暉明、 今井主憲、 入夏淑恵、助田陽一、笹本忠 遠藤銀朗、平山正明、淀川雅之 若井登久雄、掛水孝幸、 鈴木浩志、竹村重保、谷垣禎 高井紀栄、木村博行、 石松欽一、持田豊、鈴木茂生 前田正行、藤井正子、清家 永友啓子、須川眞一、堀文 鈴木和夫、窪田知雄 村瀬忠男、 田路繁男、 北上文雄、 比留間由 河邊和裕 杉山都 丸山元 谷 丹 高 侍

> 野スミ子、川村トシ子、川崎英憲、澤田 谷川直司、村松充、上田昌子、高山侃 柳清人、小柳奈津子、熊谷英雄、 渡部惣四郎、田代正廣、渡辺等、 寺喜一郎、 子、箕口一三、赤山伸夫、畠中博、 星野勇介、山岸和子、勝又一歩、 良一、半田由美子、山田治、広坂光則 宏、半田明稔、木元きよ、桐山裕子、片 向野暢彦、三浦和人、佐藤武彦、中田侒 田村英二、大川昭、宮津公一、斎藤浪子 崎喜一、寺西伸子、松隈茂、上田京子、 基介、下薗正記、市川久夫、小田幸枝 紀、細田栄次、大谷城、浦田和夫、馬場 西村信子、山崎和子、浜松礼子、中村忠 正政信、橋本美和、須藤幸藏、落合正治 内庸人、別所武、福田文夫、山田誠、道 **井手尚子、羽鳥和江、伊藤久次郎、小山** 康司、平井安乃、藤津滋生、上平武信 久保和恵、岡田陽子、佐藤レイ子、平井 三宅光子、小林省三、奥田孝、掛江正通 佐藤守、下野美穂子、高橋友子、 石井孝行、池島進、重南昌男、桃谷尚安 一宅清和、高畠拓生、渡邊美代子、清藤 樋口みな子、中村光吉、高木百合子、 高木弘、高木恵美子、小野正見、 佐藤明夫、上野美裕、山崎浩希、 中島龍、尾野益大、五十嵐安雄、 深井嘉浩、小川博、森田武男 熊谷敬 高橋素 富樫信 長 長

昭

三尾彰、今井秀正、森沢義信、内田稔、 平林節生、玉川宏、東辰巳、松村保、 興洋、有賀良夫、鈴木貞信、小口秀男、 保男、菊池玲、豊島宏始、中川秀利、 雄、三好勇、長嶺弥恵子、西田和夫、 宮川美知子、竹内俊夫、新名雅子、横山 美子、猪八重赳、下山博信、牧田正弘 征四郎、石山賀代子、多田周廣、多田登 小笠原辰夫、相澤秀直、 鳥山文蔵、 本建一郎、 井村喜久夫、高橋靖廣、 小林銀一、山口孝、昆信一郎、菅泰三、 藤陽子、井ノ口孝臣、 邦彦、赤塩富夫、伊藤秀雄、麻生恵 奈川大学、井出里香、足立道代、佐々木 市川一、森田経伴、 矢崎茂男、小島閑、 山本敏子、米山孝志、阿保亘、 小亀真知子、中山達也、大坪秀二、関口 田正夫、寺田美代子、柴田勧、渡部芳郎 松田好子、黒岩タカ子、小林由夫、酒井 橋丈夫、沼田希一、菅家延征、中山哲 武田鞆子、山下秀一、向田吉彦、西村幸 村寿文、高野毅、林原隆二、荒井真二、 郎、佐藤伸逸、茂木完治、国枝忠幹、 柳下忠義、高橋耕志、坂田悦夫、稲垣哲 金男、小野寺昇、木内四郎、竹重 佐藤英子、森合孝信、 大西幸男、大木忠雄、 與倉勇一、河野通晴 池田祥祐、深井幾蔵 藤田傳、横田昭夫 金光康資 高橋喜代子、橋 水永一芳 渋谷茂 飯田巖 朗 神 高 加

宏規、 崎由枝、岡本喜久穂、西田克己、 内一実、吉田春彦、本多美津子、 浦眞六、川合鉊一、豊倉さと子、 鈴木碩也、金中和美 孝夫、内藤正美、松田展夫、 條好司、澁谷實、斎藤友護、石川健三 栃金正一、大畑博子、川合壽之、平賀武 荒川龍治、山中君子、安田二三男、 巳、森永義忠、竹花晃、縄田さかゑ、高 加藤晴久、山口弘子、角田公雄、 伊藤武、芳村宗雄、白井聰一、釘本武昌 成二、菊崎令子、永田由紀子、長谷川文 行、福山佶、金中利和、 介、高倉敦、牟田泰三、檜森造、渡辺嘉 郎、村田正彦、小沢けい子、川口宗、 夫、大和康郎、伊東保男、本山芳裕、三· 小林敏行、東野智也、上田洋治、三浦藤 岸哲生、岸裕子、飯野やす子、野原龍夫 部澄子、栗林淳子、浦邉充、斎藤知茂, 橋口邦彦、橋口節子、緒方路子、荒川直 岡千津子、神原照子、高橋宜也、 洋子、千田敦司、土谷匡、西村俊二、吉 浩、長井純、神脇順吉、田矢八束、 石川惠子、河野雄平、渡部展雄、 森茂、鈴木征夫、武田壽夫、伊藤正博 加藤明、 士、恒吉克範、恒吉詔子、服部岩男、 、池田暁彦、和田正昭、三木靖子、 野田忠宏、手島祥雄、湯口晴夫、森 齋藤賢一郎、 堀内康司、平野裕也、 堀田その子、坂本豊、幕田光明 滝川敏康、上保三 稲永則信、 山口允彦、 礒山隆夫 安場俊 有本隆 北原孝 中島篤 松田雄 ф 河

今年もちばして会いましょう



錆付いた指導標:引馬峠の檜枝岐側付近でみつけたもの

ほど藪漕ぎに挑戦するも長続きせず。4回目は05年4月30日。スキーで舟岐川、黒沢を詰め、引馬峠から2手に分れて台倉高山と黒岩山の二兎を追ったが、台倉高山組は1981mピーク(引馬山)の先のコル1928m地点で、黒岩山組は孫兵衛分岐手前の2012m地点で時間切れとなった。舟岐川のテント場から引馬峠までが長すぎたためであるが、引馬峠では檜枝岐側下山口に錆びきった道標を発見、先人の往来の匂いをかいだ。

(日出平洋太郎)

00会

藪の殿堂を踏査

昨春、分水嶺路査委員会より大川会員が持ち帰った 栃木・福島県境の山王峠〜安ヶ森峠間について、00会 で資料を集めて検討する。藪がひどく難度が高いが、 三渡会長の判断で担当することを決定した。この区間 は藪と灌木で9割は道がなく、水もない。残雪期以外 の縦走記録もない。支援隊は車の移動、荒海山への通 常ルートからの水の補給等の調査山行を事前に行った。

実踏査は当初10月に予定したが、台風で流れた。11月21~23日、晴れが見込めたため決行。踏査隊は佐藤充信会員と友人の田村利弘氏、支援隊は大川昭、石井孝行、佐野正之、副島一義の各会員。20日に山王峠駐車場で幕営。21日6時30分発。峠でGPS、無線機を調整する。佐野会員に見送られて山道に入る。雨量計測小屋までは順調。その後藪が深くなり、2回ルートをはずした。GPSに注意する。送電線監視道に出て一安心、15時20分に鉄塔下で幕営する。

22日 6 時30分発。藪が深く、灌木がミックスした状態が連続する。1276mピークに12時10分着。荒海山への登りは勾配がきつくなり、灌木帯の中ザックがひっ

かかり進めない。三角点頂上に16時20着、山頂直下の 避難小屋へ16時30分着。水4ℓが届いていた。

23日 6 時30分発。隣の次郎岳は指呼の間だが、道はまったくない上に南面は切れており、稜線と北側の灌木をくぐり抜けて進む。次郎岳 9 時20分着、1475mピーク11時34分着、1363mピーク14時15分着と藪は背よりも高い。安ヶ森山近くで藪が背位に低くなり楽になる。無線が通じ、支援隊が安ヶ森山へ向かっていることがわかり、水を依頼した。15時18分安ヶ森山で皆と一緒になる。山座同定、記念撮影、踏査達成の喜びを分かち合った。

00会会員の協力に感謝。中央分水嶺踏査の1区間の 責任を果たせたことを嬉しく思った。 (佐藤充信)

01会

夏・春の上信国境を行く

01会の中央分水嶺踏査は、首都圏2の野反峠〜山田 峠の担当となった。行程が長いので2班編成とし、そ れぞれ両端の野反峠と山田峠からスタート、赤石山で 合流して下山する計画を立てた。

04年8月27日午後、A班4名は野反峠をスタート、野反湖を見下ろすなだらかな分水嶺を歩く。クマザサの中の小道をたどり、大高山を越え荒廃した五三郎小屋に泊まる。翌28日朝、雨中出発、湯ノ沢ノ頭からは踏み跡程度になり笹こぎを強いられた。赤石山の先で分水嶺を離れ大沼池に下山した。

一方、B班11名は事前の調査で山田峠〜渋峠間の分 水嶺が立入り禁止となっていることが判明していたの で、8月28日朝、渋峠から小雨の中をスタートした。 横手山まで、ここも分水嶺は立ち入り禁止で上州側の 林道を行った。横手山から鉢山を経て赤石山までは一 部を除きほぼ分水嶺沿いに登山道をたどり、大沼池へ 下山してA班と合流した。

無雪期立ち入り禁止の横手山〜山田峠を積雪期に踏査すべく翌年3月、再度踏査を目指したが悪天候で果たせず、かろうじて雪の残る4月17日、快晴に恵まれ2名で横手山をスキーで出発。渋峠を経て山田峠への最後の下りは雪が切れて車道歩きとなったが、分水嶺をほぼ完全にトレースすることができた。

ぎりぎりの残雪期にやっと踏査を果たすなど難行したが、季節を変えての山行を楽しむことができた。

(岡田尚武)



アルパインスケッチクラブ

スケッチブックに分水嶺

04年6月19日、軽井沢駅に集合、徒歩で旧軽井沢市 街・旧軽井沢峠経由し霧積温泉の金湯館に泊まる。

翌日霧積温泉を出発し、十六曲がりの登りでスケッチをする。最後の急坂を越えると鼻曲峠。ここが中央分水嶺上である。さっそくGPSを取り出し、緯度・経度と高度を記録する。三角点のある鼻曲山頂上は見晴らしが悪いため5分ほど離れた小天狗岳に移動する。360度の展望の中で、思い思いスケッチを楽しむ。

昼食後、4人の碓氷峠組が落葉の積もった小道を快適に降りるが、疲れた体に留夫山の登りはつらい。地図上の三角点を見つけては記録する。峠の茶屋で茶を飲み、見晴台でスケッチブックを開き妙義山のスケッチをする。見晴台からの道はかすかな踏み跡程度で、最後は無くなってしまったが、分水嶺沿いに下って国道18号の碓氷峠に立つ。国道を歩き軽井沢駅に到着。

もう一方の火山ルート上までの4人は昼食後、鼻曲山を下り30分くらいで鼻曲山の西登山口の国境平に到着。その後は平坦道を歩く。国道146号線の県境バス停から林に入るが、林の中はシダ類の生い茂った道無

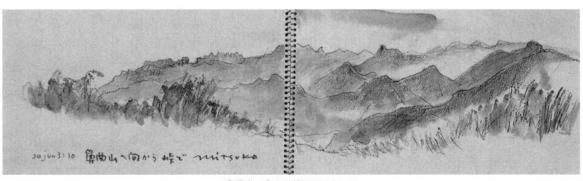
き道で、藪こぎをしながら進むと火山ルート上のつつ じが原バス停に突然出た。バスで軽井沢駅に行き、碓 氷峠ルート隊と合流した。 (沼田・冨樫記)

アルパインスキークラブ

藪漕ぎが残った

アルパインスキークラブは帝釈山脈の一部、馬坂峠と三平峠間を分担した。水平距離にして約22kmだが、 桧高山系から黒岩山までの7kmほどを除いては登山 道がなく、スキーか藪漕ぎが要求される。われわれは 4度挑戦 (各回とも10名前後参加)し、70%強を踏査 した。残り6km程は黒岩山~孫兵衛分岐と、台倉高 山~引馬山の2か所に分れた。あと2回の挑戦でなん とか片付けたい。以下はこれまでの概要である。

初回は04年4月24~25日、スキーで三平峠~桧高山 北峰間にトラックを刻んだ。2回目は同年9月12日、 桧高山北峰~黒岩山を踏査した。これで三平峠からの トラックが繋がった。袴腰山と黒岩山は踏査のため1 時間ほど藪漕ぎを強いられた。3回目は1か月後の10 月10日、馬坂峠~台倉高山。藪漕ぎ覚悟の山行だった が、切開きがあって拍子抜け。台倉高山から南へ30分



鼻曲山へ向かう峠でのスケッチ

南極への気持を

連続講演会「語り継ぐ黎明期 の登山…それぞれの山

第4回 一穂高からマナスルへ、そして南極へ 村山雅美氏

資料映像委員会 田畑真

行った。その時、先生を良く知る 語で説明してくれた。先生に出会 と温泉に魅せられ、日本に来まし ニュージーランドの南極クラブの た」と、中学1年生にもわかる英 った。着任挨拶で「私は日本の雪 利用することを南極に教えに来た 人たちが歓迎会を開いてくれた。 って50年目にあたる年、南極点に 30年)の先生だ。彼は、落下傘を 一本が気に入り、我々の先生にな 師付属中学へ入学した時(19 オードリーズ先生は、 私が東京

隣にいた相当な年齢の人に「そこ 中曽根康弘元総理と出会う の赤いパーカーを取ってくれ」と り南極の虜になり、予算を取って は南極に行ったばかりに、すっか 緒に南極へ行った。中曽根さん 観測船「富士」を造ろうという 中曽根さんらを引っ張り出し、 帰りの飛行機では、

取って良く見ると、ドゥ

我が旧制高校時代の生活

当時、私は横須賀の海兵団の予備 だとわかったものだった。 飛行機があった。防空団も気づい に触れんばかりに低く飛んで来る た。戦艦「春日」の上空をマスト 学生で、びっしり訓練を受けてい は」と聞くと、「そうだ」とのこと。 の初空襲のドゥーリットルさんで ーリットル』と書いてある。「日本 ポンポンと撃ちだし、初めて空襲 たと見え、機関砲ぐらいのものを

旧制高校の選択とマナスル参加

年、今西錦司さんのもとに、第1 らせたら面白いぞ」と一席を設け がいた。「こいつに一杯飲ませ、 先遺隊としてシェルパの手配で、 次隊にも参加させていただいた。 次隊でマナスルへ。54年の第2 る環境にあったからだ。1953 ち、1か月単位ぐらいで山に行け ひときわ目立つ年食ったシェルパ ダージリンの町を歩いていると、 して松本高校を選んだ。1年のう 私は山とスキーのできる学校と



撮影·高取剛充

島々では早稲田や慶応

だ」と、知ることができた。 は頑固だし、 てまあまあだけれども、 ロングスタッフぐらいは隊長とし た。 思った通りで「ブルースから エルマンはけちん坊 シプトン

マナスルで南極観測を知る

極観測に行かせていただいた。 った。そして、第1次、第2次南 ご馳走になった。籍は講師と決ま 長に言ったら怒られたが、 たち、としか読めませんよ」と学 学長の所へ挨拶に行け」と。 教官にしてやろう。横浜国立大学 た挙句、 省に知恵者の課長がおられ調査し は貿易の仕事をしていたが、 員でなければならないという。 とを知った。南極に行くには公務 6~57年に南極観測が始まるこ ナスルのキャンプで、 「横浜に1人空席がある。 「東京の人間には、くに 195 面会

将の采配があったから。だか 年の頃だ。家庭からの仕送りが1 の約束があった。寛容な市民の て卒業する時までに必ず払う」と 部米田屋のツケでよろしい。そし ー代、石油代、食料費の3つは全 山登りができた。「山で使うタクシ 我々は、30円や40円の生活なが 本の本町にあった米田屋さんの女 がどうしてできたかというと、松 たことを覚えている。こんなこと れていた。これを追い越して行っ の連中が荷物を担いでよくしごか いうもの。 所は全部車やタクシーを使え」と しかし、部の流儀は「車が使える か月に30円から40円の時代のこと。 でしごきはなかった。 旧制高校に対してあったので

旧き良き時代を大いに語る

俗にいう、上級生と下級生の

昭和11~

14

極点に到達 第1次南極観測隊隊員。 制松本高校・東京帝国大学卒。 20名)で行われた、資料映像委員 はないかと思う。 1次~2次マナスル登山隊に参加。 会主催の講演会記録を元に編集】 ~69年には南極大陸大旅行、 【4月22日、東京体育館(参加者1 1918年生まれ、 1 9 6

5

Ħ

L あ

まう。続く会食でも古川さんを っという間に予定時間になっ

丛

出 0 ŧ

11 続 井 んで山 御礼の言葉を差し上げ、 々と飛び出し、 頁 の夜半であった。 共に一泊された古川さん I談義。 会友の こちらもあ 想 会友は 13

> 9日 6日

総務委員会 キークラブ

ア

ル

インス

ju

18

インスケッチクラ

10

H

常務理事会

自然保護委員

大野

Ш

と歩き始め

た。

雲

の合間

17

第48回丹水会集会

梅雨前入り前の6月4日 合した。 奈川県山 洒水の滝」 来年創立25年を迎える集会は、 宿先には日本の 北町の宿 がある 「文覚荘」 流百選 王, に集 神 0

純一 マー 最近上梓された さん。 の裏話にエピソードも交ざり、 ズクラブや第2次RCC創設 例の講演の講師は日 「わが岩壁」 数々の初登攀の話 の著者である古川 Ē 本超古代地名 本クライ

集会でも、 腹ごしらえ後は、 気良く山を降りた。 楽しい想い

拭き、 と山北への下山組と分れた。 と麦の汁を囲みワイワイガヤガ な風が心地良い しょりである。 雨入りも間近なせいか皆汗でび 急坂をゆっくりと登ってゆく。 からは時々太陽も顔を出すな Ш 頂の牧場に着くと爽や 途中 谷峨への 山頂では、 大休止で汗を 出を胸に元 弁当 か ヤ 梅 か 0

18

H

高尾

0

の森実行

員会 委員 評議員会

5月来室者88名

会

高

尾

森実行 周年式典

委

1

0 0) Ŏ

委員 会報委員会

会

水

会

0

くも

Report 日本山岳会の各委員会 同好会の活動報告です

12

▲山の本の本

大槻利行

雁部貞夫

●特装本

著者直筆の歌とサイン 美装・天金・箱入 限定版125部(番号入) 定価 16,800円 ●普及本

菊判・444ページ

上製本・カバー掛け 定価 5,775円

特装本と普及本の二種発売!! ヒマラヤ、カラコルム、中央アジア

からシルクロード、中国、そして日本 の山々についての登山記と紀行文の ほか、多彩な文化人が語った自然と 民俗・文化についての名著130篇に ついて、著者が鋭い眼で書評・解説 した山の〈書誌文化誌〉。

*特装本はおかげさまで完売いたしました。

おれ にんげんたち

・ウザラーはどこに



黒澤明が感動したように、 デルスーに魅かれて

探検家アルセニエフの生涯とその足跡 をウスリーのタイガにたずね、二人の 友情、自然と人間のかかわりを探究する。

岡本 武司 四六判 220頁 1,890円(税込)

〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15番地 Tel.075-723-0111 Fax.075-723-0096 URL http://www.nakanishiya.co.jp/

H H H H 学生部 絡会議 委員会 白年史委員会 資料映像委員会 員会山の自然学研究会 会 オトビデオクラブ 0 0 1 周年フォーラム 00 会 自然保護委員会 ン 4 1 Ш ネ 研 同好会連 運営 " 1 委 小 委

> 27 日 26 日

> 山想俱楽部 自然保護委員会

14 13

11 H 理 r 会 事会 ル 休山会 18 図 イン 書委員会 山岳地理クラ スケ " チ ク

ラ 23 日 20 日

25 日

パインスキークラブ

19 Ĥ

部

科学委員会 学生部 会 Ш 想俱楽部 九五会

03同期会 高尾の森実行委員会 書管理委員会 ゆきわり会 T

15

全国各地の支部から、独自の活動状況を リポートします。

創立100周年記念 東北ブロック式典開催

部長の歓迎の挨拶に続き、 会長から挨拶をいただいた。 後3時に開会され、 された。53名が参加した式典は午 ホテルリステル猪苗代」にて開催 創立100周年記念東北ブロ 5月28日に猪苗代町の 佐久間福島支 平林副 "

ギャラ・ペリ、 チュリ西峰、 演題は「未踏峰 る尾形好雄氏を講師にお願いした。 ヒマラヤ協会常務理事などを務め 科学省登山研修所運営委員、 記念講演は、 マモストン・ サトパントなどの 福島市出身で文部 の挑戦」。 ヒマル カンリ、 日本 てきた。 和に恵まれ、

会へと会場を移した。 部が担当することに決定し、 加者をヒマラヤの高峰へと誘う。 じえての講演は臨場感に満ち、 ーブルムの登頂などスライドをま 引き続いて行われた東北ブロ チョ・ 来年度の集会は秋田支 オユー、 懇親 参 "

猫魔ヶ岳コースのパーティーは、 バスで磐梯山ゴールドラインの コースに分かれた。 万台に移動、 猫魔ヶ岳 29日の懇親登山は、 猫魔ヶ岳コース、 (1404年) 登山を開始した。 磐梯山コース、 磐梯山 裏磐梯周遊 は 1 新 八

(逸見征

の胡麻あえが大いに喜ばれた。

雪を物語るように雪におおわれた むことができた。 間近にはピラミダルな磐梯山を望 飯豊連峰や、 を涼しい風に 13名のパー 日本山岳誌 ィーと交信すると、 目ざした。山頂からは、 ティーで新緑のブナ林 にも掲載される山で、 吾妻·安達太良連峰、 吹かれながら山頂を 磐梯山の 絶好の登山 今年の豪 パー H テ

どり、 ネザクラで彩られていた。 1日 食をとった。 **!頂から下って再びブナ林をた** 雄国沼の岸辺の休憩所で昼 岸辺は 面に咲くミ 中

弾むような声が返っ

ガッ シャ その後、 より感謝している。 現した。 を通じて多くの方々との交流が実 加をしていただき、 のパーティーと合流した。 通り2時30分頃雄子沢川口に到着 緑色の木洩れ日の中を歩き、 今回の式典には東北ブロ 首都圏や山梨支部からも参 福島支部の会員一 裏磐梯スキー場で磐梯

懇親山行報告 京岐北陸5支部合同 石川支部

かれて山行を行った。 の午後6時から懇親会を、 市ノ瀬の永井旅館で5月28日 番支部であったので、 目を数える。今回は石川支部 支部合同懇親山行は、 (日) は、釈迦ヶ岳と千振尾根に分 京都、 岐阜、 白山市白峰 今年で5回 富山 翌 29 日 との5 が当

の堅豆腐を出し彩りを添えた。 してきた岩魚と山菜とご当地名物 の乾杯で宴が開かれた。 長が挨拶しそして斎藤惇生元会長 長の挨拶で始まり、 懇親会は、石川支部の津田支部 石川支部の会員が、 続いて各支部 懇親会で 前日調達

れを癒し、

来年の

山行後、

懇親会や登山 同 予定 クは 心 残り、 鉢の内、 2次会では岩魚のそろばん、 り、懐しい歌の数々を合唱した。 部の女性会員のフルート演奏があ の1鉢だった。2次会は、岐阜支 とウドと堅豆腐の味噌汁、こごみ り、 次会には岩魚の骨酒と、 しんの煮物を出したが、 もう1鉢は岩魚が1匹だけが 2番酒を足せたのはたった 1鉢は岩魚も酒もなくな 骨酒は3 ウドとに 岩魚

ッ

できた。 2名を残し全員が登る事になった。 はの春山を楽しむことができた。 いで、残雪と相まって今時ならで よく歩き、 る人が1人いた他は皆さん元気で いて登ってもらったが、途中で戻 を出発した。 ースと伝えてあるにもかかわらず 組に分かれ、 あいにくの曇り空で、ガスが張 釈迦ヶ岳には、工事用道路を歩 山行は、千振尾根組と釈迦ヶ岳 ブナの新緑が非常にきれ 全員山頂に立つことが 釈迦ヶ岳は、 午前7時に永井旅館 健脚コ

再会を約束してそれぞれ帰路につ ることもでき良い山行であった。 っていたが、時折切れて本峰を見 永井旅館で温泉に入り 合同 山行での

業計

未了区間をできるだけ早く

昨年は全国支部懇

た夏季例会の 談会の開催準備 終らせるほか、

実施

などが計

画され

のため中

止とな

わせて100

周年関連

行事

支部=7名、 部=11名、 参加者 京都支部 福井支部=11名、 支部=17名。 || 7名、 岐阜支 富山

織田伸治

藤文昭、

極的な参加が

平成17年度の総会開催

議案について説明 長が議長となり、 本市の国際交流会館にお 委任を含む) 5月22日 (日) 原案通り承認され 総会には会員、 が出席 事務局 午後6時 があ L ŋ 工藤支部 会友31名 より提出 11 て開催 から 能 0

支部の主管で開催された全国支部 であることが報告され かにラインの未了区間を残 全区間のK点測定を終了し り大成功に終ったこと、 て進められた中央分水嶺踏査 画については、 5月の連休までに 会友の協力によ 昨年10月に熊本 また並 分水嶺 す Ó わず

調に推移し、

懇談会が、

会員、

業報告では、

鳥帽子岳の頂上からの雄大なロケーションに大歓声

務局に田上と決まった。 -成17年度新役員は、 副支部長に神谷平 呼びかけられ 支部長に 山教室ではさまざまなことを

田上敏行

医鲍支部

第8回 こども登山教室を開催

今年は46名の参加者を得た。 での子供を対象に開催しているが、 月23日~ 恒例の |を越えた小学生から大学生 24日に実施した。 「こども登山教室」 学校や を4 ま

Ħ

供

たいと思う大人の姿勢であろう。 これから に態度で示したいものだ。 多くの言葉ではなく尊大にならず は大人の背中を見ているもの を意識しなければならない。 鳥帽子岳に登山したが 今回 、本県阿蘇で実施し デラを子供達に見せたい 11 マサポー 「の教室は世界最大級 0 の子供たちに将来を ではない ターは常に子供 かと思う。 た。 思 これは と思 の大カ 5 Ē 目は 子供 0 11 H

することにより、 なく多い。 こそ教室の意義はそこにあり、 ざまな事を示唆してくれる。 には偉大なものに触れさせよ、 はほほえまし そして自主性と協調性を養う。 体験しながら基本的な事を学び 言うが、 には我慢も譲り合うことも必要で つことで無意識のうちに自然を慈 しみ、 く構えている。 は輝き、 たちが体験して学ぶことは限 言葉をかけたり、 る。 年長者が年少者にいたわり 、間との共存の必要を感じ まさに自然は私達にさま 心身は何物にも反応 いものである。 感動 豊かな自然に接 Ш 助け合う光景 中での彼等 し興味を持 供 時 0 n

> 良かっ 後、 センター してい 凧揚げ大会で盛り上がっ 残ったものと思われる。 風景は、 をあげるなどそれぞれ おり を使ってのこの講座を熱心に受講 恒例の自然講座であり、 しんでいた。 頂 一蘇青年の家では凧作りに励み、 での 現 帰途に着 た。 た。 雄大なロ 山都町) なく子供 で野草園を散策し、 きっと子供達の 途中の 翌日は南阿蘇ビジ 宮崎では見られな た。 ケー 0 達は元気で調子 文楽を鑑賞し 花々を愛で、 (岡本真理子 が 3 浴登山 た。 スライ 宿泊所 心に深く ンに歓 夜は で楽 声 が 0

携帯電話が使えない場所で、緊急時に備える ○レンタルもございます

SpO2の変化をモニターして、高山病予防に役立てる 型 パルスオキシメーター Ubi-x -----メーカー希望小売価格 68,250円(消費税込)

○体動の影響に強い ○高所登山でも精度は実証済

株式会社 ウェック・トレック 国土交通大臣登録旅行業 1662号

T105-0003 東京都港区西新橋3-24-8 山内ビル4階 03-3437-8848 mail info@everest.co.jp

宮城支部

新支部長、千石信夫氏紹介



新支部長の千石信夫氏

西

して選出された。 支部長が千田早苗支部長の後任と 月の支部総会で、 千石信夫副

氏の後輩にあたる。在学中は学生 登攀隊長の現岩手支部長菊池修身 部にも参加し旧知の仲間も多い。 隊長の故田中弘美元信濃支部長 はヒンズー・クシュ遠征に参加 1973年入会 (7681番)。 千石氏は拓殖大学山岳部時代に

るのはお人柄によるもの。 所属し、93年からは10年間事務 は穏やかだが不思議に説得力があ 活動を盛り上げてきた。話し口調 局を担当するなど、 など課題は多いが、この時期に最 3年後に迫った支部創立50周年 宮城支部には1980年頃から 一貫して支部

もふさわしい新支部長を迎え、 部会員一同、 たいと思う 杯協力していき 支

その後、

福井山岳会の白山登山

76 冨士山頂からスキーで滑る 歳

宮本数男

乱期の荒んでいた私の心に染み入 森や頂上からの風景は、 ちょうど終戦の年、心が荒んでい この山に登った。その時の美しい たクラスメートから誘いを受け、 たとき、剣ヶ岳の麓の剣岳村にい ていない結果が遭難だ。 いでいる。事故管理が十分行われ 任であるが、高齢者の遭難が相次 寿の意味がない。山登りは自己責 ある。しかし、健康でなければ長 女仲良く全国2位という長寿県で 私は山登りを始めて60年になる。 福井県は、県民の平均寿命が男 癒し」を受けた。 戦後の混

> が富士山でも通用した。 たが、身体で覚えた山登りの技術 合宿でスキーや岩登りを鍛えられ 島岳・白山、夏の剣岳・穂高岳の つくから、ますます元気になる。 ら元気を維持する。すると体力が うことになった。山に登りたいか も参加し、 吉野ヶ岳、 前5山(白山・越知山・文殊山 の募集があり参加した。 98年5月に、富士山頂から滑 福井山岳会に入り、厳冬期の荒 山から「元気」をもら 日野山)を登る企画に また 越

頂に着いた。ともかく寒い。雪が 飛ばされそうな風の中、 翌日、6時30分出発。 兼用靴はザックに入れる。 ビスターリで登り、 14時に山 スキーを 吹き

小屋に泊まった。

■会期

7月16日~8月28日

甲斐もなく今年も5月14日に佐藤 ったあの快適さが忘れられず、

年

ちらついた。 斜面を恐る恐る滑る。時間がか で先が見えない。先頭について急 とのこと。小御岳流しでは雲の中 たが18時佐藤小屋に着く。 東京では霜が降りた



会員の皆様のご意見、エッセイ、俳句 詩などを掲載するペ どしご投稿ください。(紙面に限り 1点につき1000字程 がありますので、 度でお願いします)

本会後援により五百城文哉展

近年、再評価と里帰りの取り組み 交が深く、創立期の本会にも係わ 6) は、本会発起人の一人である ションギャラリーで開催される。 全貌を紹介する企画となった。 が進み、百回忌に当たり、 多くの作品が海外に流出してい は目の肥えた外国人の評価を受け して絵を画き、独特な細密植物画 角」を寄稿している。日光に在住 り、『山岳』創刊号に「赤薙の 城数馬と山草収集趣味を通じて親 ■五百城文哉(1869~190 甦る明治の洋画家五百城文哉展 本会10周年記念事業の一環とし 咲き競う百花百草 東京駅丸の内口の東京ステー 画業の

山坂五郎 金丸長造 山内内 古市幸子 魚本亮子 足立 渡辺 瀧山 奥山茂彦 渡辺道雄 野々上幸 松本義夫 岩田嘉明 島村淳子 佐藤幸雄 原田博人 矢萩久雄 見澤繁幸 仁田昌二 原有徳 茂 勉 養 7563 5422 96 99 6317 1 2 5 8 0 1 2 2 3 2 1 1 9942 9917 9 3 7 3 84 8375 8 124 6736 0 0 0 120 0776 3 87 63 6 0 928 593 1 1 2 47 85 1 0 Ò 9 北海道 岐阜 京都 岐阜 静岡 北海道 北海道 京都 宮崎 宮崎 岐阜

(12670)(8533) (4826) 4450 05 05 05 05 北海道 5 5 5 3 30 20 17 27

塚本茂樹

木村勝久

上光久

スイス山岳会ベルン支部編 岡澤祐吉·他訳('72年版初日本語訳) B6判上製本250頁 ¥1800 送料別¥340

ゲミからペータース山稜まで、ペータース山稜からフィンス テルアールヨッホまで等全山稜山群の詳細な案内。付記、案 内人・運搬人規則、遭難信号等。(昭和49年出版在庫新本) · 日本図書館協会選定図書 · 今西錦司(故人)、

横川文雄(故人)、芳野満彦各氏推薦 取扱店 ㈱アイダム 樹と匠社 上尾市富士見1-17-1 7362-0041 TEL · 048-779-5050 FAX · 048-779-5051 郵便振替口座 樹と匠社 00180-6-7977

番号は 6月 柴田篤志会員 お詫びして訂正いたします。 7 2 1 (4932) の誤りです。 (7932) の会員 号3ページ3段、

訂 IE.

高橋 石原 本田卯太郎 達夫 IE. (5698) 56 543 6 4

東海

Climbing & Medicine · 46

子供は高所に弱いか 上小牧憲寛

昨年、標高 $3600 \, \text{m}$ のラサに妻と $2 \,$ 歳の娘を伴って旅行する機会がありました。事前に、旅行社の方から、 $2 \,$ 歳の子供がラサへ行くことを懸念されました。妻は $4800 \, \text{m}$ のモンブランに登ったことがあり、私は $7500 \, \text{m}$ のムスターグアタや $6000 \, \text{m}$ のコングデに登ったことがありますが、娘は $2000 \, \text{m}$ 位までしか登ったことがありませんでした。私は迷ったのですが、具合が悪くなったら帰国すれば良いと考え、連れて行きました。最高 $5000 \, \text{m}$ まで登りましたが、なんと、滞在中の動脈血酸素飽和度(SpO_2)は、娘が常に父母よりも高かったのでした。

子供の急性高山病については様々な報告があります。 SpO_2 も急性高山病の発症率も大人と変わらないという報告もあれば、 SpO_2 は大人より低く、発症率は高いという意見も

あります。また、乳幼児で低酸素による呼吸抑制がみられたとの報告もあります。研究によって結論が異なる原因のひとつは、調査対象の人数が比較的少ないことでしょう。中には、私の娘のようなケースもあるのです。つまり、大人同様個体差があるということです。

では、子供を高所に同伴する場合、どのようなことに注意すれば良いのでしょうか。

まず第1に、親が高所障害にかからないこと。親の具合が悪いと、子供の観察を十分に 行うことが出来なくなるからです。

第2に幼児は体調不良をうまく訴えることが出来ません。不機嫌、食欲不振、遊ばなくなる、不眠、頭痛などの症状に気付いたら低地に下りることです。子供用の急性高山病スコアも提唱されています。

第3に小児は、体表面積/体重比が大きいため低温による体温喪失が激しいので、寒い 高所では保温に努めて下さい。

以上の注意事項を守れば、子供同伴で高所 へ行ってもかまわないと考えられます。最終 的な責任は親にあることはいうまでもありま せんが。

図書受入報告 (2005年4~5月)

著	者	書	名	ページ・大きさ	出版元	出版年	寄贈/購入別
ケル	サン・タウワ(編著)	チベッ	ト語辞典: 蔵日・日蔵	221pp/19cm	カワチェン	2003	編者寄贈
佐々	木民秀(編)	韓国德	· · 裕山· · 伽倻山親善登山報告書	66pp/26cm	日本山岳会秋田支部	2004	発行者寄贈
大型	互保(編)	チャン	タンの蒼い空:西チベット学術登山隊2004全記録	216pp/26cm	日本山岳会関西支部	2005	発行者寄贈
山菜	條欣一(編)	神々の	座:8000m峰挑戦の記録(2004年版)	226pp/30cm	日本ヒマラヤ協会	2005	編者寄贈
太郎	平小屋50周年記念誌編集委員会	太郎平	三小屋:50周年を迎えて	246pp/27cm	五十嶋博文(私家版)	2004	羽田栄治氏寄贈
<i>T</i> i.+	上嶋一晃	岳は日	に五たび色がかわる:太郎平小屋50年史 別冊	278pp/27cm	太郎平小屋記念誌編集委員会	2005	羽田栄治氏寄贈
黑音	邓の衆(編著)	黒部別	山山:積雪期	671pp/23cm	黒部の衆	2005	著者寄贈
神原	原照子	日高过	山路:藪を漕ぎ、クマにおびえて登った日高山脈103座の軌路	\$322pp/22cm	神原照子(私家版)	2005	著者寄贈
小叫	壽尚研究室(編)	山に学	:ぶ:歩いて観て考える山の自然	141pp/26cm	古今書院	2005	編者寄贈
滋質	県琵琶湖研究所(編)	琵琶湖	・環境科学センターへの移行にあたって(所報22,2003年度)	397pp/30cm	滋賀県琵琶湖研究所	2005	発行者寄贈
羽田	日寿志	知られ	ざる山々:山形・新潟・福島の道無き山	257pp/20cm	白山書房	2005	出版社寄贈
新丿	人物往来社(編)	異国人	の見た幕末明治JAPAN(愛蔵版)	190pp/26cm	新人物往来社	2005	出版社寄贈
工產	藥隆雄	山のミ	ステリー	253pp/19cm	東京新聞出版局	2005	出版社寄贈
雁音	邓貞夫	岳書籍	ž走	426pp/23cm	ナカニシヤ出版	2005	出版社寄贈
山倉		地図に	ない道:奥武蔵研究会との30年	187pp/26cm	山倉一穂(私家版)	2004	発行者寄贈
藤原	原咲子	母へ0	詫び状:新田次郎、藤原ていの娘に生まれて	229pp/20cm	山と溪谷社	2005	出版社寄贈
吉田	日外司夫	ヒマラ	ヤ植物大図鑑:Himalayan Plants Illustrated	799pp/27cm	山と溪谷社	2005	出版社寄贈
佐伯	白郁夫	山との	語らい:剱岳のふもとから	143pp/21cm	山と溪谷社	2005	著者寄贈
Kh	an, M. Asif (ed.)	Tector	nics of the Nanga Parbat Syntaxis & the Western Himalaya	485pp/26cm	Geological Society	2000	W.Heichel氏(寄贈)

5月理事会

場所 石田、 贄田、 委任 小倉(董)、重廣各常任評議員 橋本各副会長、藤本、 [出席者] 平山会長、 力各監事、 一小川、 田村、 5月11日18時30分~ 日本山岳会 黒川、 宮崎、 鳥居各理事、 大蔵各理事 鈴木、 鰺坂、 芳賀、 会議室 今村、 野口 西村、 内田、 21時 平 林、

審議事項

任について 平成17、 18年度理事等候補選

ので、 会に引き継ぎたいと会長の発言が 各委員会の委員長の権限と責任を く理事会が運営されるのに伴い、 を討議し、議決する役割を持つべ 員会の代表でなく、当会の進め方 あり承認された。なお、 両氏を理事候補とする旨の提案が 候補者のうち、 確にする必要があるとの意見が 前回の理事会で承認された理 この 新たに石橋正美・藤井正義 ルール化は新し 2名が辞退された 理 い理事 事が委

> 認された。 2 交代の提案があり、 関西支部、 支部長の交代承認について 宮城支部より支部長 下記の通り承

関西支部長 重廣恒夫

宮城支部長 千石信夫

3 7 価交換プロジェクトの発足につい 104号室と201号室の等

足させる提案があり、 等価交換の実施について深川評議 委員を長とするプロジェクトを発 懸案となっている2つの部屋 承認された。 0

た。 以下の件が担当者より報告され 会報 『山』 5月号の内容

ついて の氏名を『山』 5月号に掲載する。 金を3万円以上してくださった方 1 九州地区ブロック式典案内に ップ記事は自然保護。 会員募

びの高原。 会を別紙の如く7月16日~17日え 創立100周年記念九州地区大 評議委員会開催について ご出席をお願いしたい

意見を言ったが、

少額ででも売

た人には無償配布するという れまで1口3千円以上寄付

合わせもあるので、 任評議委員の選任、 第1回評議委 新任の 平山 顔

り了承された。

5 千万円に達した。 について 1・5800トル 別紙の如く4月末でおおむね5 会のHPに掲載されている。 マナスル登山現状報告

等、

理事会に決定を託すこととした。

③関西の大学会員の100周年募

願いについて 6 以にあるが、 ウェストン氏の写真掲載許可 大雪のため苦戦中

新人物往来社

①村山雅美氏講演会 7 その他 鈴木

意見を聞いておく必要がある。 今回任期満了となる理事も含め ②百年史配布方法 しておく必要があるのではない 会報7月号に内容を掲載する。 各人の意見を聞いたところ、 百年史の配布方法につい 100人以上の参加があっ て検討

販売することにしたらどうか。 たらどうか

少額でも売ることにしたほうが

4 より当会集会室で行いたい 員会を総会後の5月31日午後3時 100周年記念事業募金状況

藤本

C2 · 630 0 C

チベット学術登山隊2004」 も寄付をしており、 方合計したものを100周年募 00周年募金をしているので、 金について 関西の各大学は、関西支部の「西 さらに今回 両 1

としてほしい。

日本山岳会創立100周年記念 □慧海の足跡をたずねて

A) 国境の峠探訪とカイラス1周トレッキング 33日間 9/12(月)~10/14(金) 785,000円

B) 秘境ムスタン・トレッキング 22日間 10/18(火)~11/8(火) 645,000円

〒105-0003 東京都港区西新橋1-12-1 西新橋1森ビル2F ☎03-3503-1911 大阪 206-6444-3033 名古屋 2052-581-3211 福岡 2092-715-1557 e-mail:info@alpine-tour.com http://www.alpine-tour.com

真集は欲しいという人が多 百年史十資料は申込制にし、 読むのではない

いろいろな意見が出たが、 で、それを配布したらよい。 新

INFORMATION

イラスト 宇都木慎

オリエンテーション開催延期

のお知らせ

総務委員会

細は追って連絡します。 年記念式典準備に伴うもので、 11月中旬に延期します。100周 会員オリエンテーション」開催を 10月1日出に行う予定の「新入

ーション 「第12回上高地インタープリテ 自然保護委員会共催 山の自然学研究会

■ガイドウォーク 会」も3年目となりました。 トークは10年、 じめて12年、「上高地の夕べ」ミニ やま学研がガイドウォークをは 7月30日出~8月13日 「こどもスケッチ (土)

15名が上高地パークボランテ 方面にご案内します。 ィアとしてビジターセンター 大正池、 明神、

> 時間 場所 テー ■こどもスケッチ会 アルパインスケッチクラブ会 Ż 温泉ホテル、アルペンホテ 19時30分から約1時間 ル、西糸屋山荘で毎晩開催 上高地の自然、 他

期間 ログラム。 8月4日本~8日月

員の協力を得ての情操開発

時間 場所 9時~12時 西糸屋山荘前の 河原

1泊2食

問合 古田寛昭まで(風042-9 49-5631

笠丸山の自然観察会 群馬県・上野村シオジ原生林と

目然保護委員会

定員 集合 日時 夜は先生を囲んで懇談をします。 哲学者内山節氏と秘境を散策、 20 名 9月3日出~4日田 10時西武秩父駅

宿泊 国民宿舎やまびこ荘 (温泉あり

費用 8月15日までに、住所、 名、電話を明記し、ハガキ 約1万3千円 (1泊3食) かメールで川越尚子宛(1 本多3-7-31 $\begin{array}{c} 8 \\ 5 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \\ 1 \end{array}$ 国分寺市 氏

費用

-ミニトー

楽会。今年もアンサンブル「ヤー ワイン片手に楽しんでください。 ガハイッスル」のチロル音楽を、 毎 9月17日出~18日日 15時に上高地山岳研究所

E& **E** 03-3303-69 9月3日までに住所、氏名、 2 区下高井戸4-33-17 号を明記し、掘嘉余子宛 会員番号、 168-0073 電話·FAX番 杉並

「韓国」雪岳山主脈トレッキング 「雪岳山紅葉山行」事業委員会

日程

10月6日木~10日

成田~ソウル~寒渓嶺泊 岩~ 窟~ 13万8千円 稜線縦走~ ~大青峰~中青峰~小青 寒渓嶺西北主稜~中青峰 5 飛仙 東草~ 喜雲閣山荘泊~恐竜 ソウル 一一雪岳 馬等嶺 泊慰 一金剛 5

日程

11月19日出~

20 日

*申込者に詳細を送ります。 ーブチ・オータムコンサート」

8月末日までに住所、

会員番号、

電話・F

|回大好評! 山研恒例秋の音 山研運営委員会 申込

> かFAXで山崎浩子宛(2 AX番号を明記し、ハガキ

横浜市金

1万1千円 で温帯林を学ぶ 「第8回森の勉強会」神宮の森 045-782-871 沢区東朝比奈1-65-3 36-0033

500%にまたがり、 照葉樹林です。環状山脈に囲繞せ 内宮の後に広がる神宮の森は5 支部と自然保護委員会の共催 東海・関西・京都・広島の4 日本最大の

ない森の深部へ分け入ります。第 昨年とは別のルートで、登山道の り鬱蒼とした巨樹を育んでいます。 は年に2900 一をこす降雨があ られたインナー・サンクチュアリ 達したインストラクターがつく) 日目は4班に分かれて (各班に熟 1日目は座学2講で予習し、第2 森へ入ります。 (内院)を形成しています。内院

19日正午前に神宮会館ロビ りバスで15分 受付(近鉄宇治山田駅よ

8名 (先着順·共催各支部

住所、氏名、 2万円(交通費は各自負担 入保険を明記し、 322-7924 川あゆみまで 電話・FAX番号、 性別、 0 5 2 FAXで 会員番

申込者に詳細案内を送ります 「第13回山岳写真展」を開催

アルパイン・フォト・ビデオクラブ

切り取った山岳写真約50点を展示 します。 山 マを、 H 頃の登山活動から心に映った それぞれの視点と感性で

場所 日時 9月1日 新宿· 19時、 ĺ (国 03-3346 野村ビル1階ギャ 休 6 日 最終日は17時

問合 III 873-0907 嶋新太郎(回&風03-3

入場無料

立山薬師氷河地形調査山行 山の自然学研究会

を探勝、 \mathbf{H} 理解を深める。 き続いて調査・研修し、自然への 立山 9 連峰の氷河地形を昨年に引 般会員の参加歓迎 月1日本~6日火 雄大な山岳美が堪能で 薬師岳3大カー ル

日時

9 16

月16日金~18日日

Ħ

7時30分山岳研究所

30分出発

(前夜泊も可

行程

山研

徳沢~槍沢ロッ

天狗原·氷河公園

行 富山 堂~富山 泊/ 2日朝 泊~ 5 内蔵 5 Ŧi. 薬師岳~スゴ乗越 折立~ 富山地鉄富山 色ケ原(泊) 助 山 太郎兵衛 荘 泊 5 5 駅前 雄 平.

定員 費用 3万5千円 6名まで (宿泊、 資料代

8月27日までに、 で船橋明宛 AX番号を明 6 FAX 0 4 6 記 し F A 氏名、 X F

Щ 申込者に詳細連絡します。 岳保険に加入のこと。 3 2 -3 0 1

氷河公園の実地研修山行

できる。 すばらしい山岳美を楽しむことが れる所以である。 スの自然』) 現れた」(小林国夫著『日本アル 沢・天狗原は した。高山植物の保護などには氷 河地形を知る必要があり、 年に 引き続き本年も計画しま 一般会員の参加歓迎 所で、氷河公園と呼ば 「氷河作用の顕著に 山の自然学研究会 錦秋のこの頃は ここ槍

H

時 泉~ 室堂~剱岳~真砂沢 9月2日金~5日 **~二俣~** 呵 曾 仙 原 人池~ 5 榉 平 仙 5 宇奈 人温 剱岳

富山駅 室堂バスターミナ

月温泉

氏名、 6万円程度 88 記し井上功宛 1 2 3 4 4 電話・ (東京発の場合) FAX番号を FAX O

5月の総会を受けて新体制が 100周年に向けて活発に

散 小屋跡~横尾~ ~横尾山荘 上高地

きました。

募金のお願い・記念式

0

周年関係が目立つようになって

泊

〜横尾岩

きはじめてい

ます。

会報にも10

費用 10名ま 2万円 宿 泊 資料代)

色々ありますが、会員全員参加を

案内・分水嶺踏査報告など

モットーに協力をお願いします。

今月の2日に上高地に行きまし

9月10日までに、 にて船橋明宛 AX番号を明記しFAX FAX 0 氏名、 467 F

たが、

沢渡で崖崩れがあり、

申込者に詳細連絡します。 Ш 岳保険に加入のこと。

32-3011

剱岳・黒部山行

山想倶楽部

ーズン、

交通渋滞が心配され

ます

の時間がかかりそうです。

夏のシ

回しました。

修復工事にはかなり

高原・白骨温泉経由で細い道を迂

*

続きご協力お願いします。 号からは神長新編集長です。 がら進めてきました。 4年間、 では次期編集長と引き継ぎをし ・会報 きたのではと思っております。 なりに今の会の現状をお伝えで 山研を活用して下さい。 『山』の編集は、今月号ま 引き 次 な

日本山岳会会報 山 722号

申込者に詳細案内送ります

⊠osu_inoue@msn.com

2005年(平成17年) 7月20日発行 発行所 社団法人日本山岳会 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 サンビュウハイツ四番町 東京(03)3261-4433 東京(03)3261-4441 日本山岳会会長 平山善吉 今村千秋

E-メール:jac-kaiho@jac.or.jp 印 刷 株式会社 双陽社